

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年2月27日
【事業年度】	第90期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）
【会社名】	株式会社日阪製作所
【英訳名】	HISAKA WORKS, LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 竹下 好和
【本店の所在の場所】	大阪市北区曾根崎二丁目12番7号
【電話番号】	大阪 06（6363）0006（代表）
【事務連絡者氏名】	経営管理部部長 波多野 浩史
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区曾根崎二丁目12番7号
【電話番号】	大阪 06（6363）0007
【事務連絡者氏名】	経営管理部部長 波多野 浩史
【縦覧に供する場所】	株式会社日阪製作所東京支店 （東京都中央区京橋一丁目19番8号） 株式会社日阪製作所名古屋支店 （愛知県名古屋市中区栄一丁目12番17号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2019年6月27日に提出いたしました第90期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

4 コーポレート・ガバナンスの状況等

(5) 株式の保有状況

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

4【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(5)【株式の保有状況】

(訂正前)

(前略)

c. 特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報

特定投資株式

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の 保有の有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (千円)	貸借対照表計上額 (千円)		
(中略)				
新日鐵住金(株)(注)	207,665	29,752	取引関係の維持・発展のために保有しており、熱交換器事業、プロセスエンジニアリング事業及びバルブ事業にて取引を行っております。	有
	405,777	69,515		
(中略)				
(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	478,640	388,140	取引関係の維持・発展のために保有しており、金融取引等を行っております。	有
	263,252	270,533		
(中略)				
セーレン(株)	119,325	118,778	取引関係の維持・発展のために保有しており、プロセスエンジニアリング事業にて取引を行っております。	無
	195,095	236,012		
(中略)				
旭松食品(株)	42,600	213,000	取引関係の維持・発展のために保有しており、プロセスエンジニアリング事業にて取引を行っております。	有
	91,164	86,052		
(中略)				
サカイバックス(株)	21,920	21,439	取引関係の維持・発展のために保有しており、プロセスエンジニアリング事業にて取引を行っております。	有
	39,652	55,976		
(中略)				
(株)カネカ	1,247	5,518	取引関係の維持・発展のために保有しており、熱交換器事業、プロセスエンジニアリング事業及びバルブ事業にて取引を行っております。	無
	5,167	5,820		

(注) 新日鐵住金(株)は、2019年4月1日付で日本製鐵(株)に商号変更しております。

(後略)

(訂正後)

(前略)

c. 特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報
 特定投資株式

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果(注1)及び株式数が増加した理由	当社の株式の保有の有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額(千円)	貸借対照表計上額(千円)		
(中略)				
新日鐵住金(株)(注2)	207,665	29,752	取引関係の維持・発展のために保有しており、熱交換器事業、プロセスエンジニアリング事業及びバルブ事業にて取引を行っております。なお、同社は2019年1月1日付けで株式交換(注3)を実施しております。	有
	405,777	69,515		
(中略)				
(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	478,640	388,140	取引関係の維持・発展のために保有しており、金融取引等を行っております。なお、株式数の増加理由は、前事業年度末のみなし保有株式相当分を本体での直接保有としたことによります。	有
	263,252	270,533		
(中略)				
セーレン(株)	119,325	118,778	取引関係の維持・発展のために保有しており、プロセスエンジニアリング事業にて取引を行っております。なお、株式数の増加理由は、取引先持株会での株式取得によるものであります。	無
	195,095	236,012		
(中略)				
旭松食品(株)	42,600	213,000	取引関係の維持・発展のために保有しており、プロセスエンジニアリング事業にて取引を行っております。なお、同社は2018年10月1日付けで5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。	有
	91,164	86,052		
(中略)				
サカイオーベックス(株)	21,920	21,439	取引関係の維持・発展のために保有しており、プロセスエンジニアリング事業にて取引を行っております。なお、株式数の増加理由は、取引先持株会での株式取得によるものであります。	有
	39,652	55,976		
(中略)				
(株)カネカ	1,247	5,518	取引関係の維持・発展のために保有しており、熱交換器事業、プロセスエンジニアリング事業及びバルブ事業にて取引を行っております。なお、株式数の増加理由は、取引先持株会での株式取得によるものであります。また、同社は2018年10月1日付けで5株につき1株の株式併合を実施しております。	無
	5,167	5,820		

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果(注1)及び株式数が増加した理由	当社の株式の保有の有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額(千円)	貸借対照表計上額(千円)		
日新製鋼株	二	250,582	取引関係の維持・発展のために保有しており、熱交換器事業、プロセスエンジニアリング事業及びバルブ事業にて取引を行っております。なお、同社は2019年1月1日付で株式交換(注3)を実施しております。	有
	二	318,489		
参天製薬株	二	68,780	取引関係の維持・発展のために保有しており、プロセスエンジニアリング事業にて取引を行っております。	無
	二	117,957		
株LIXILグループ	二	852	取引関係の維持・発展のために保有しており、プロセスエンジニアリング事業にて取引を行っております。	無
	二	2,024		

(注1) 当社は、特定投資株式の保有効果を定量的に記載することは困難ではありますが、「a. 保有方針及び保有の合理性を検証する方法並びに個別銘柄の保有の適否に関する取締役会等における検証の内容」に記載のとおり、四半期毎に開催している検討会議において保有の継続及び縮減の可否判断を行っております。

(注2) 新日鐵住金株は、2019年4月1日付で日本製鐵株に商号変更しております。

(注3) 新日鐵住金株と日新製鋼株は、2019年1月1日付で1.0 : 0.71の株式交換を実施しております。この結果、当社が前事業年度末に保有していた日新製鋼株の株式250,582株が新日鐵住金株の株式177,913株に交換され、1株に満たない端数については売却代金が交付されております。

(後略)